

狩野川

コロナ禍が収束の兆しを見せ始めすつ

たが、2年ほど前は日本中

がマスク不足でパニック状態だった。しかし

世界には、今でも必要なマスクが手に入らず困っている人たちが多い

る▼昨年、三島市のN

P.O法人グラウンドワ

ーク三島がネパール日

本友好協会と協力し、

現地の子どものためのマスク寄贈を呼び掛け

た。同N.P.Oの渡辺豊

博専務によると、ネパ

ールでマスクを購入で

きるのは富裕層だけ

で、多くの貧しい子ど

もたちは着用していな

いか、真っ黒になるまで使い回しているとい

令和4年（2022年）1月6日（木曜日）

伊豆日日新聞

▼今回、県内を中心予想を上回る約5万5千枚（前回約1万2千枚）が寄せられた。このうち5千枚は手作りだ。石けんや衣類なども多数集まり、現地の学校に直接送られた▼マスクが感染予防に大きな効果があることを実感しているからこそ、日本人はネパールの苦境が分かる。「少しでも役に立てほしい」と届けてくれた人に、渡辺専務は涙を浮かべてお礼を言ったという。